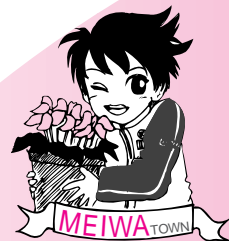


郷土に伝わる遊びに挑戦

西小ふるさとふれあい活動



まちのわだい



竹とんぼ、遠くまで飛ばかな



完成したお手玉



お手玉作りに挑戦

11月15日、西小学校5・6年生と各地区のお年寄りらが参加し、郷土文化の理解と交流を目的に、各地区の公民館などでふるさとふれあい活動が行われました。須賀地区では、午前中に藁細工や竹細工、お手玉を製作。児童たちは遊び方を教わると、郷土に伝わる遊びに挑戦しました。「作るの難しかったけれど昔の遊びも楽しい」と元気いっぱい。昼には、生活改善推進員協議会の皆さんの協力で作られた、けんちん汁や蒸しパンを食べ、午後はお年寄りから児童疎開等の話を聞きました。

とっさの時の対処法を学ぶ

教育委員会出前講座

町教育委員会では11月14日、「家庭内事故の予防と対策」をテーマに田島集会所で出前講座を開きました。講師は、日本赤十字社群馬支部派遣講師の林登美男雄先生。参加者約40人は、突然のケガや病気の応急手当法、家庭内で起こりやすい子どもの事故防止ととっさの時の対処法などを学んだ後、三角巾を使いケガの応急処置の仕方等を実践しました。参加者は「家庭内での事故防止のため、危険な物がないかもう一度子どもの周囲を見直してみます」と話していました。



三角巾の使い方を実践する参加者

平和の尊さを後世に

戦没者追悼式



献花し、ご冥福を祈る参列者

11月6日、明和町戦没者追悼式が中央公民館でしめやかに行われました。式には遺族をはじめ関係者ら約280人が参列。この追悼式は、先の大戦で祖国のために若き命を捧げた300余名の町内戦没者に対し、町民を挙げて追悼の誠を表すため、菊薫るこの時期に毎年実施しています。斎藤町長は「平和の尊さを後世に引き継ぎ、町民の幸せを願って福祉の増進に努めていきたい」とあいさつ。最後に参列者一人ひとりが霊前に進み出て献花し、英霊のご冥福を祈りました。